

第10回千曲川中流域砂礫河原保全再生検討会

令和元年度出水後の状況について

令和2年10月1日

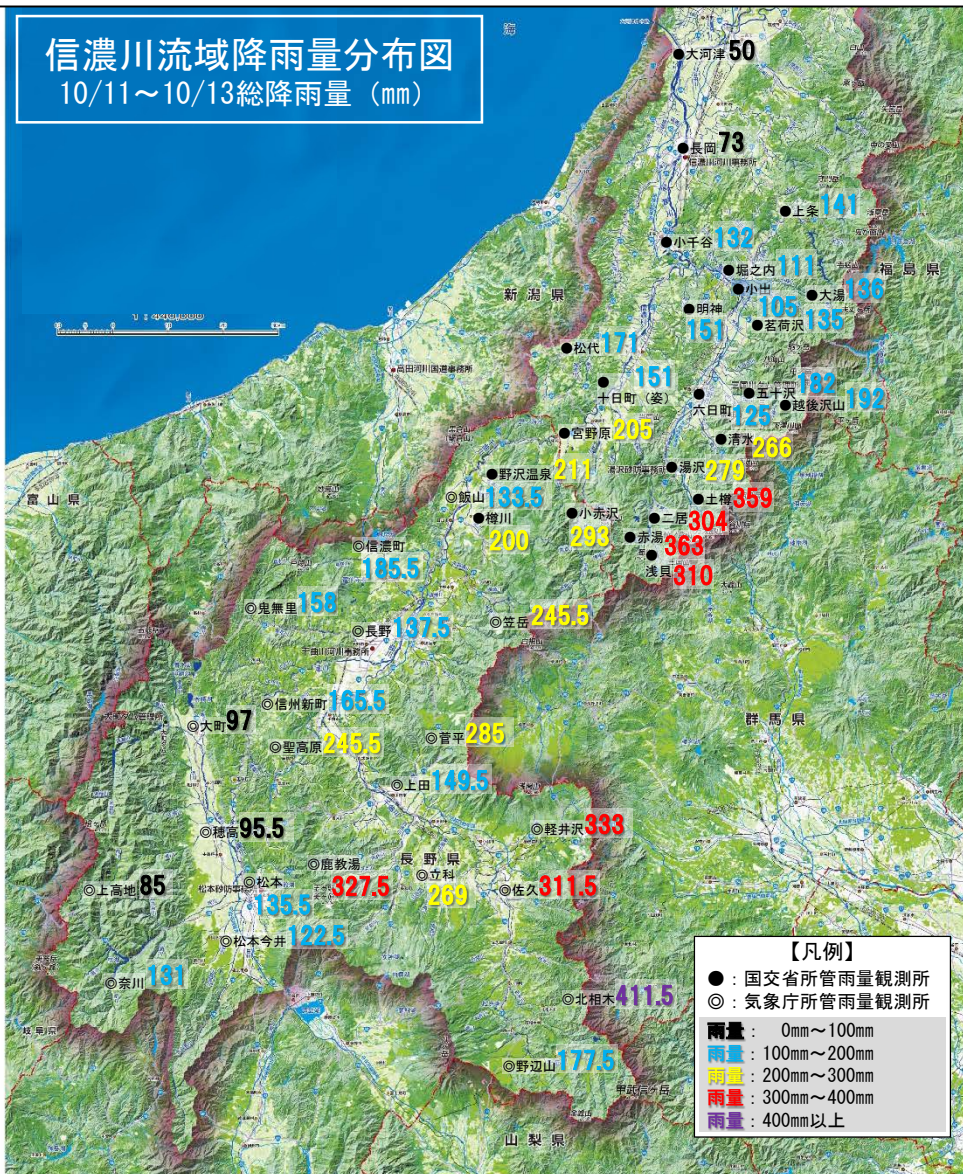
国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所

令和元年10月台風第19号豪雨の概要（信濃川水系千曲川）

■ 大型で非常に強い台風第19号は、10月12日の夕方から夜にかけて、非常に強い勢力を保ったまま東海・関東地方に上陸し、台風本体の発達した雨雲の影響により、既往最大を超える大雨をもたらした。

信濃川流域降雨量分布図

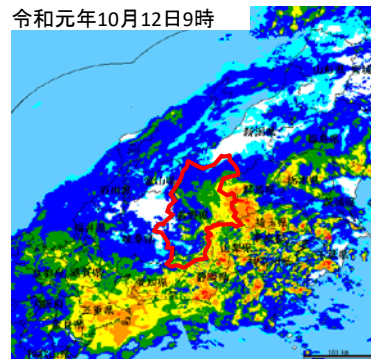
10/11～10/13総降雨量（mm）



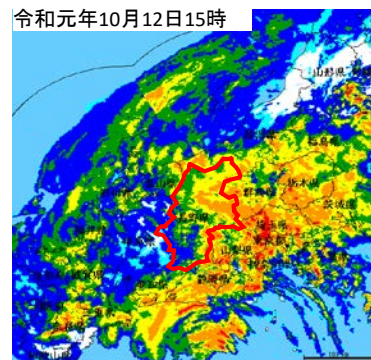
■ レーダー雨量（中部地方）

※速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

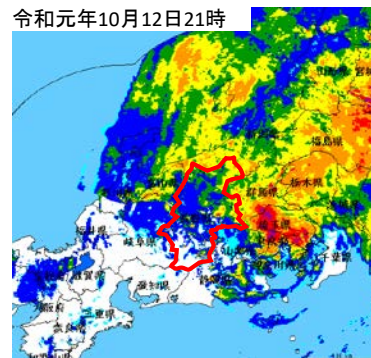
令和元年10月12日9時



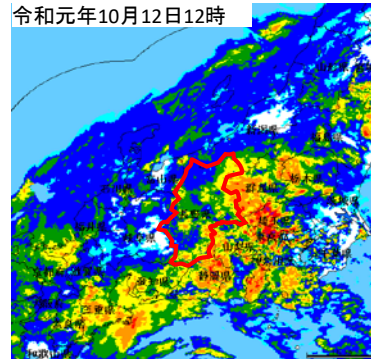
令和元年10月12日15時



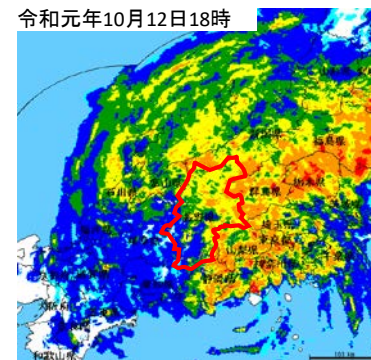
令和元年10月12日21時



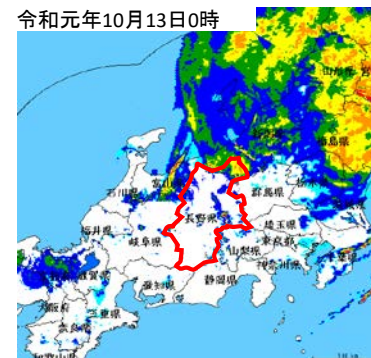
令和元年10月12日12時



令和元年10月12日18時



令和元年10月13日0時



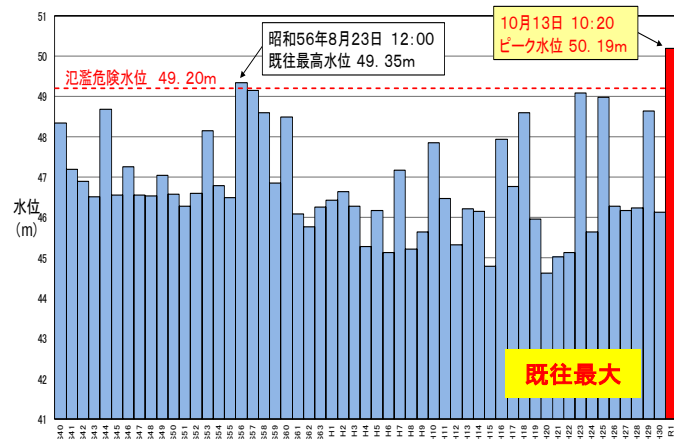
令和元年10月台風第19号豪雨時の河川水位の概要（信濃川水系）

信濃川水系（千曲川～信濃川）では、全川を通じて**既往最大**となる**ピーク水位**を観測。千曲川では堤防の決壊のほか**越水被害**も多数発生した。

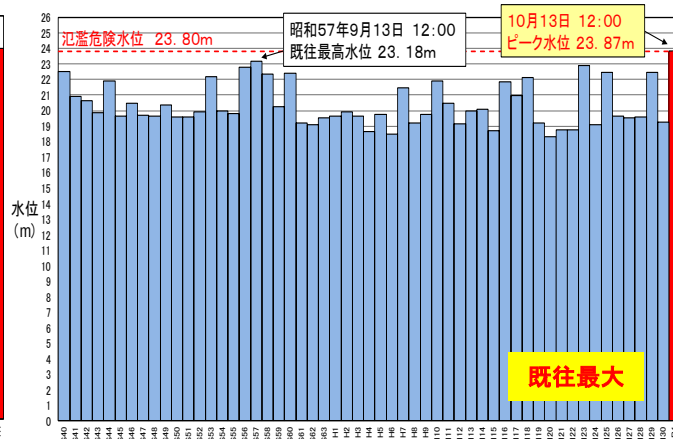
※速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

■信濃川水系／信濃川

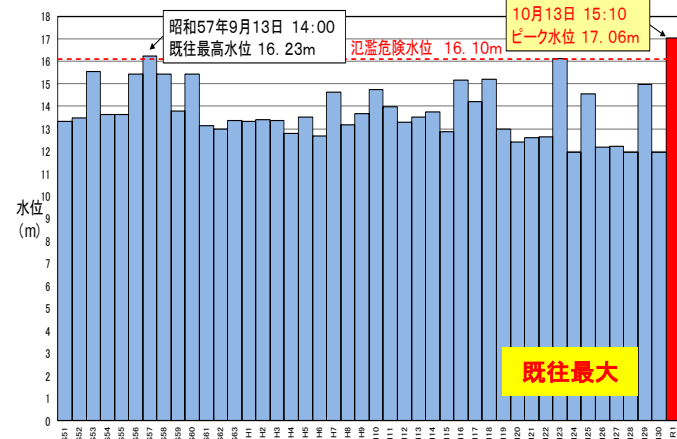
（小千谷水位観測所）



（長岡水位観測所）

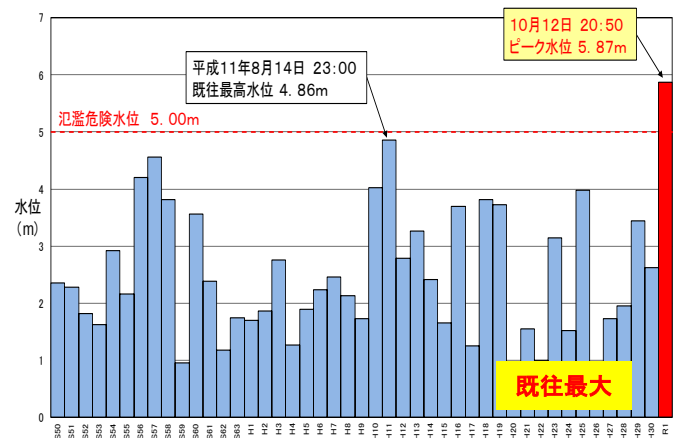


（大河津水位観測所）

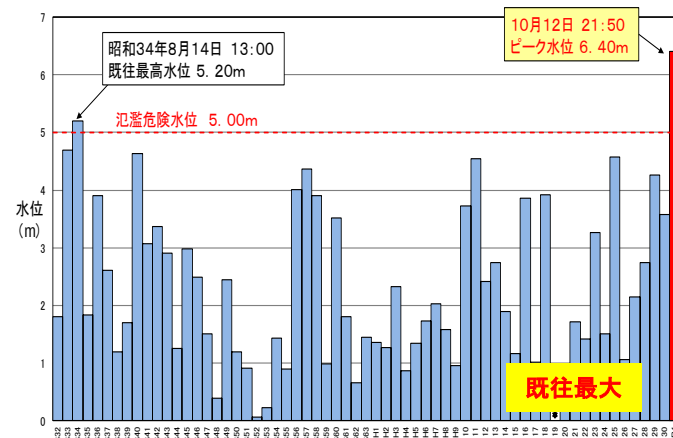


■信濃川水系／千曲川

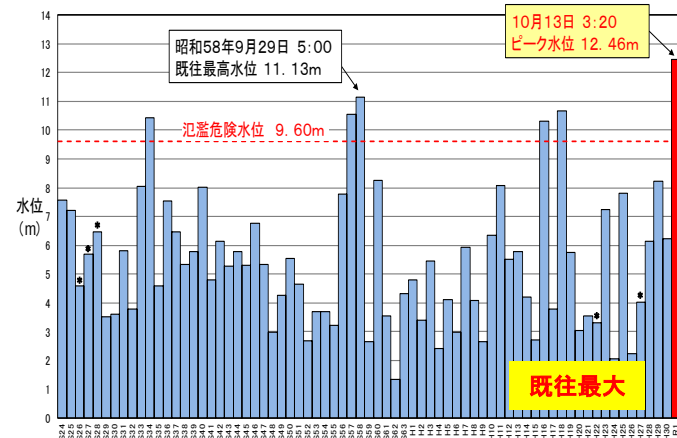
（生田水位観測所）



（杭瀬下水位観測所）



（立ヶ花水位観測所）



既往最高水位 12.46mを記録

〔過去最高：11.13m(S58.9.29)〕

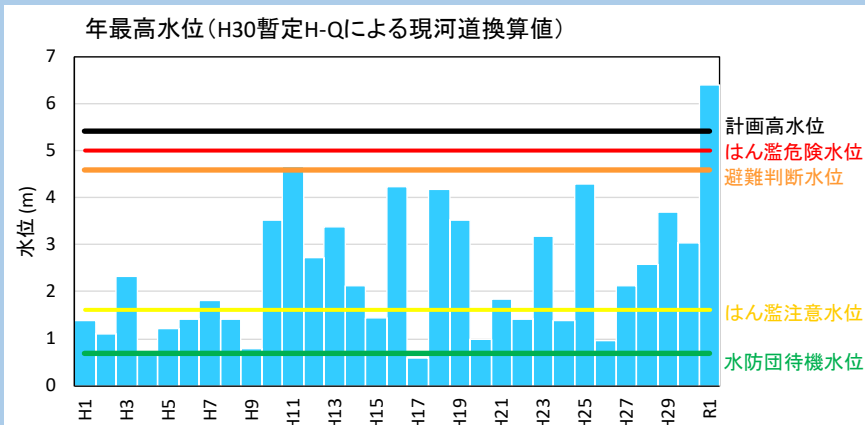
●本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

1. 千曲川自然再生整備箇所における出水状況

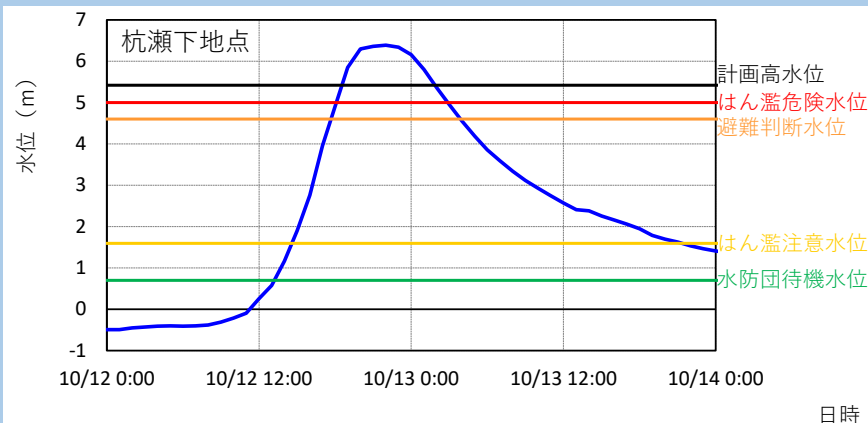
○洪水流況

- ・ 台風19号のピーク水位（杭瀬下地点）が既往最高となる6.39mに達し、計画高水位を超過
- ・ 既往の自然再生整備区間における痕跡水位は、計画高水位程度の状況

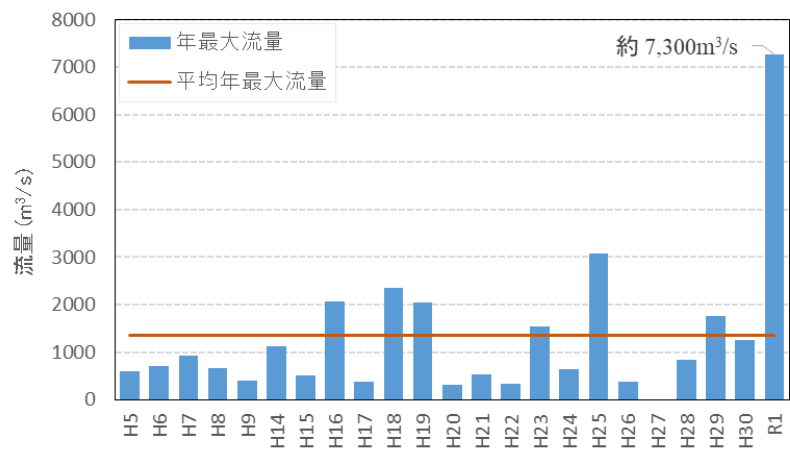
杭瀬下地点



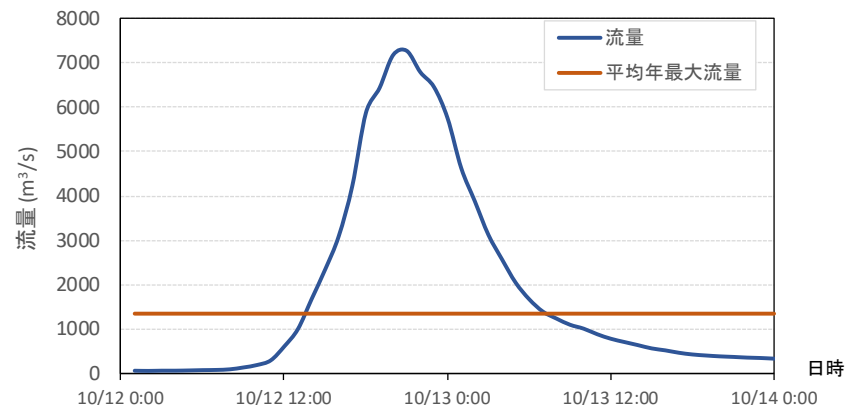
※流量欠測のため水位を示す



生田地点



令和元年度での洪水状況



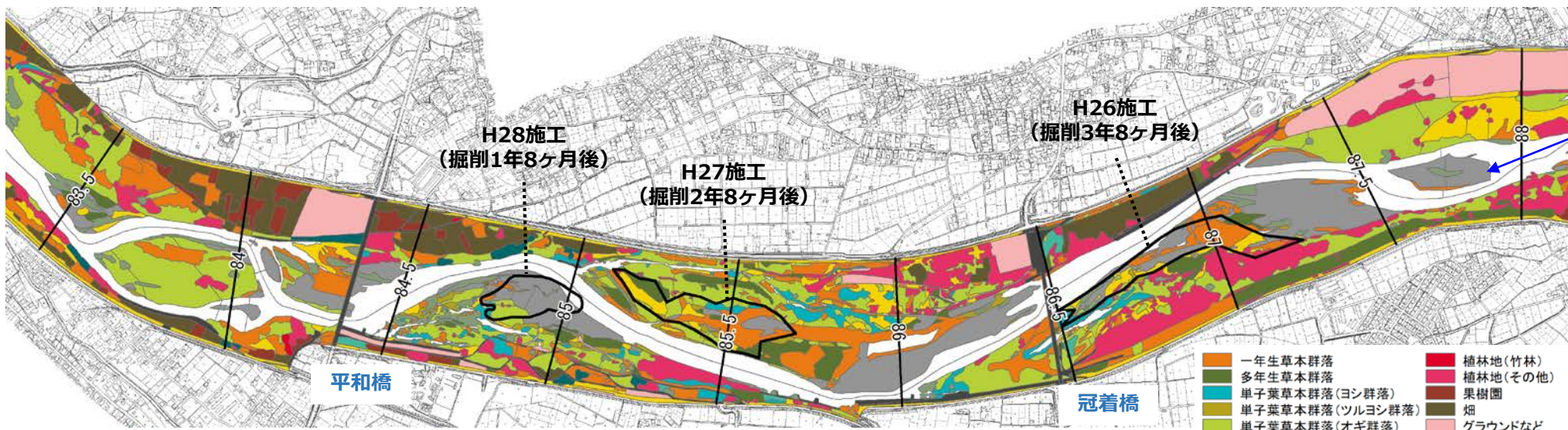
2. 千曲市冠着地区：航空写真

- 令和元年度出水によって、掘削範囲の大部分が砂礫に回復

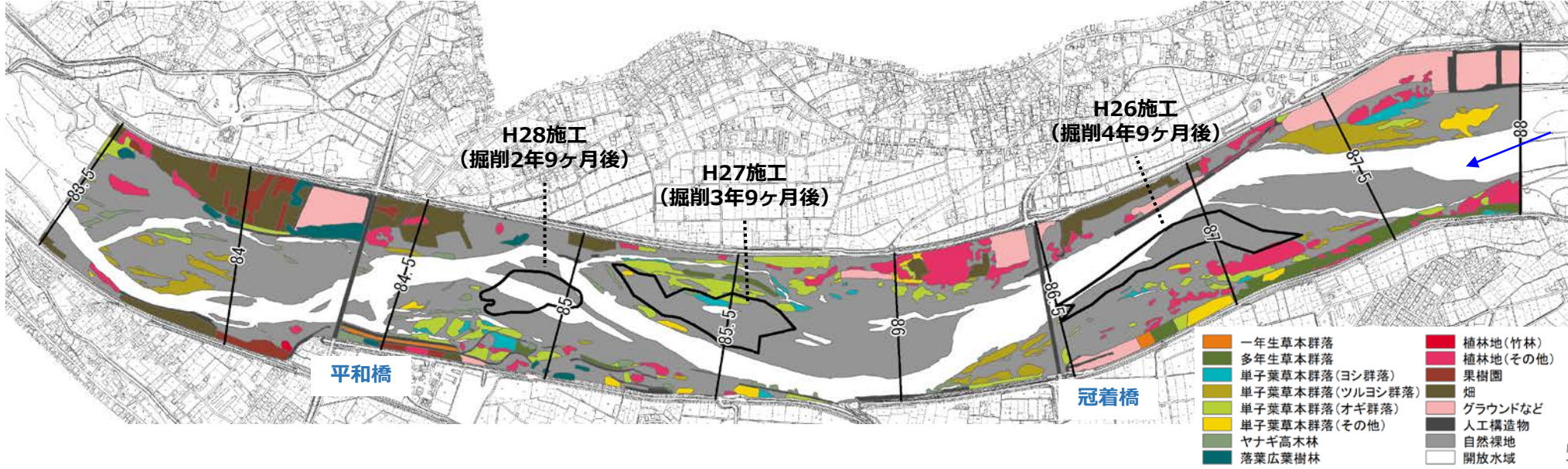


2. 千曲市冠着地区：植生図作成調査

出水前（H30秋季調査）

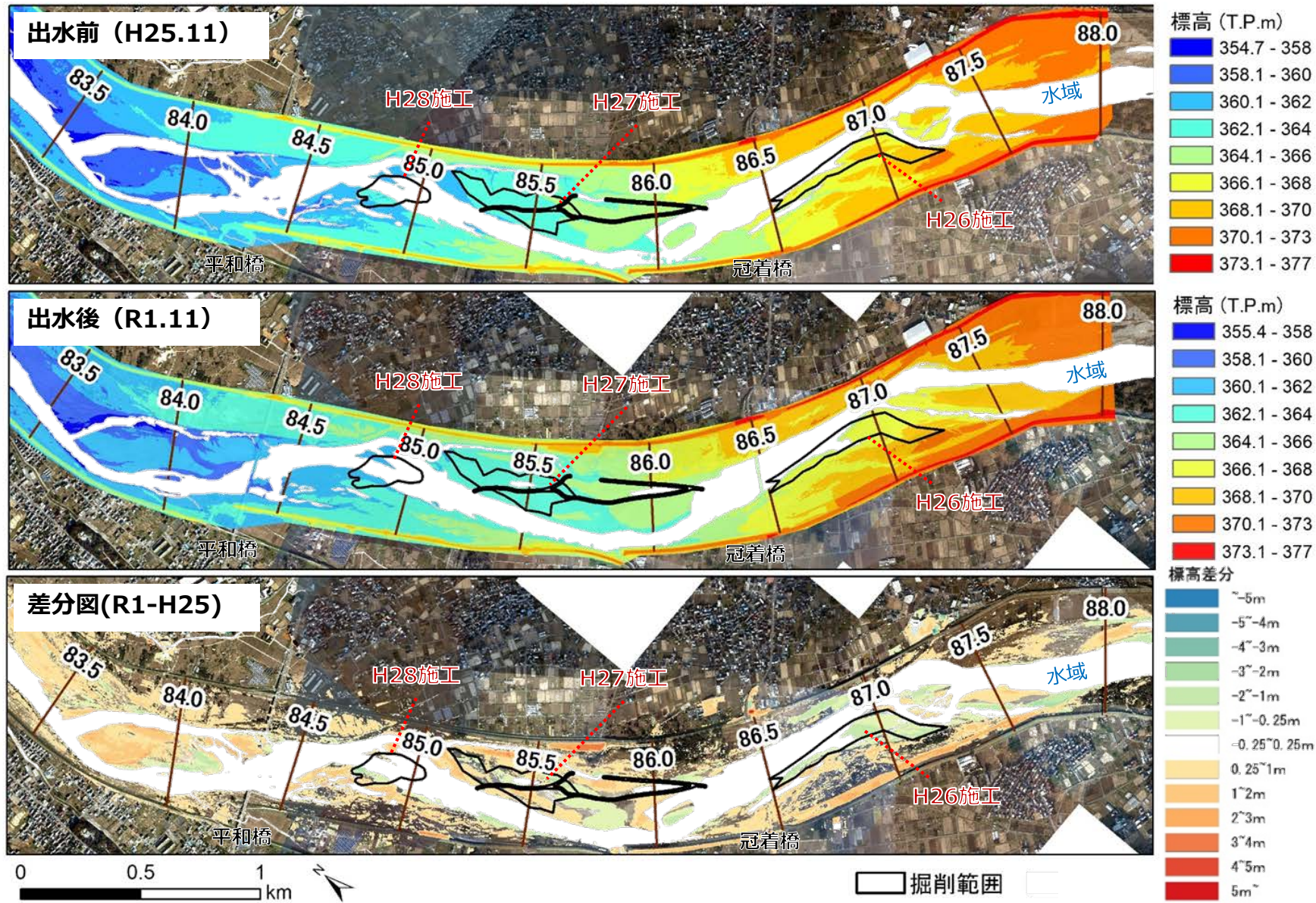


出水後（R1秋季調査）



2. 千曲市冠着地区：地形変化（LPデータの比較）

■ H26～H28に施工した箇所では、令和元年度出水により河床は概ね維持（H26施工箇所では若干低下）



3. 上田市古舟橋地区：航空写真

- 令和元年度出水により古舟橋地区は大体全幅の砂礫に回復
(なお、古舟橋上流では零筋が右岸から左岸に変化)

出水前 (H30.8撮影)

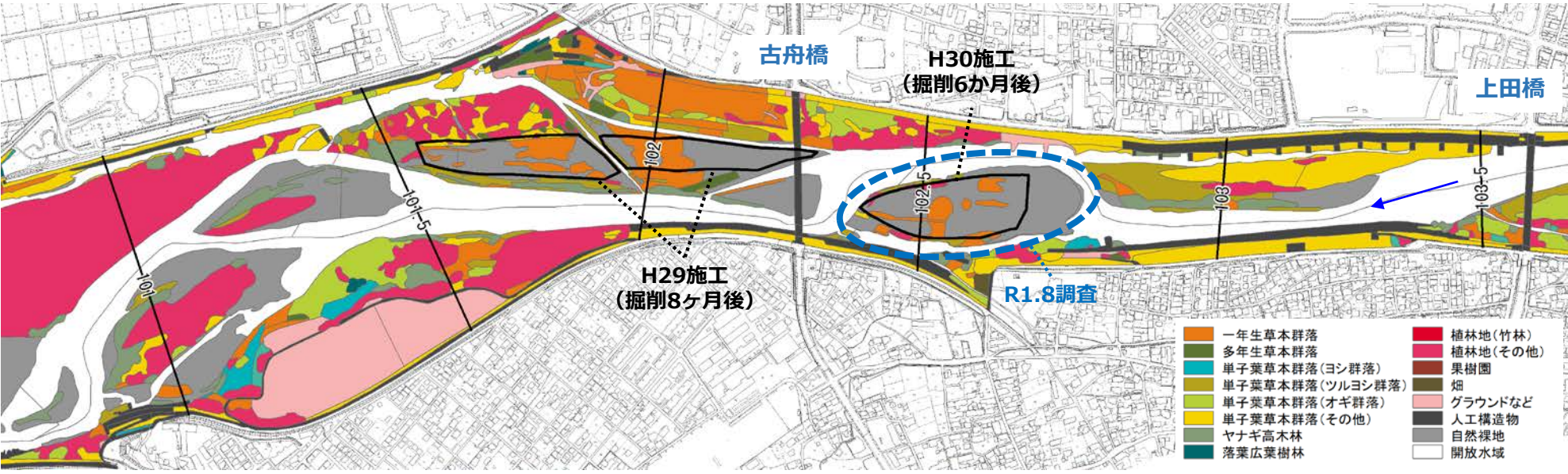


出水後 (R1.11撮影)

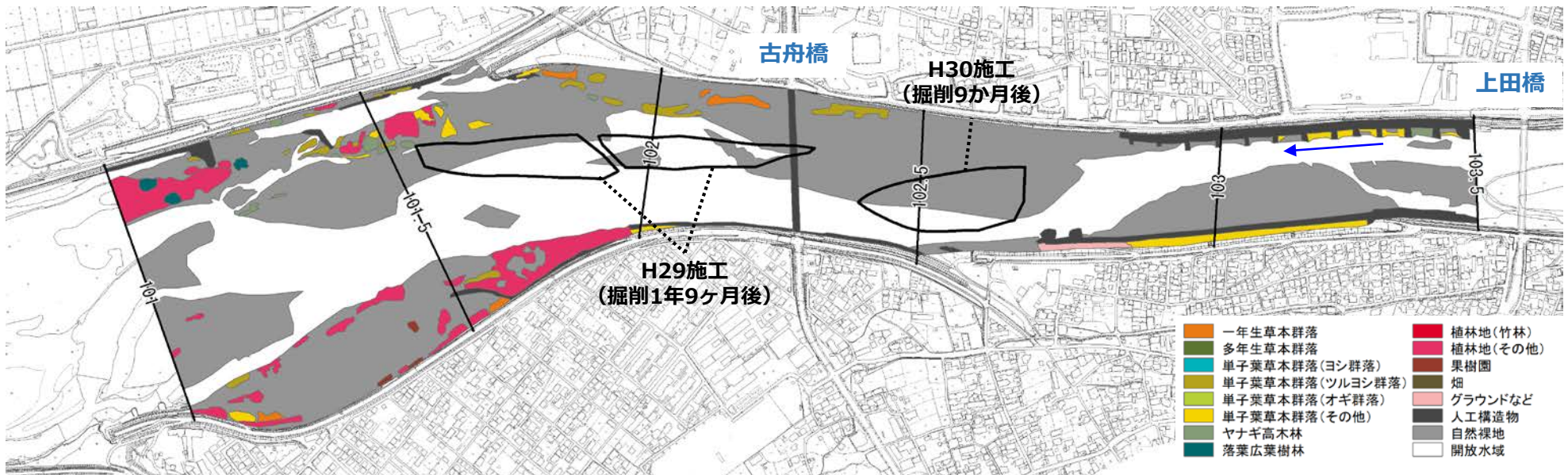


3. 上田市古舟橋地区：植生図作成調査

出水前（H30秋季調査）※H30施工箇所のみR1夏季調査

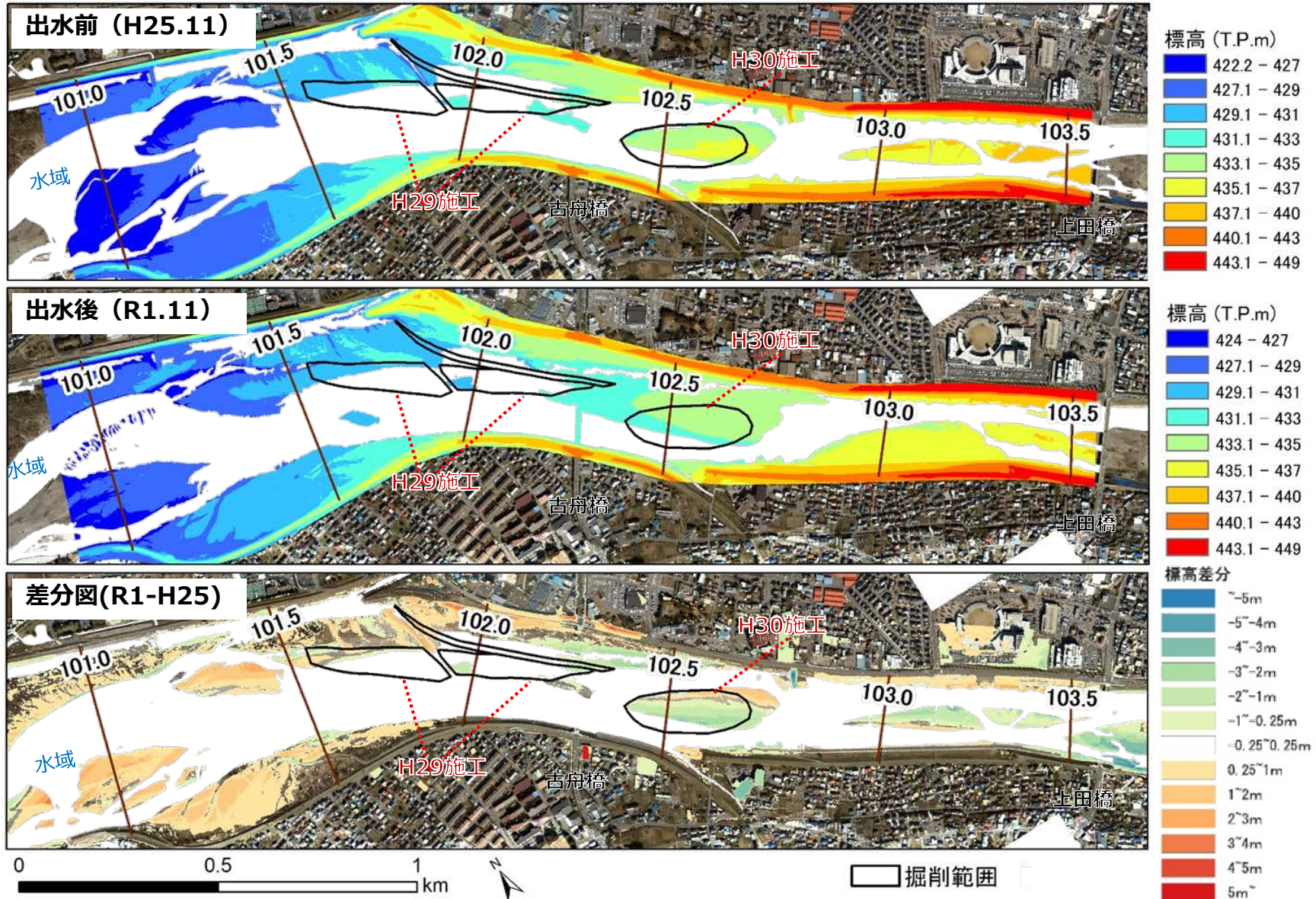


出水後（R1秋季調査）



3. 上田市古舟橋地区：地形変化（LPデータの比較）

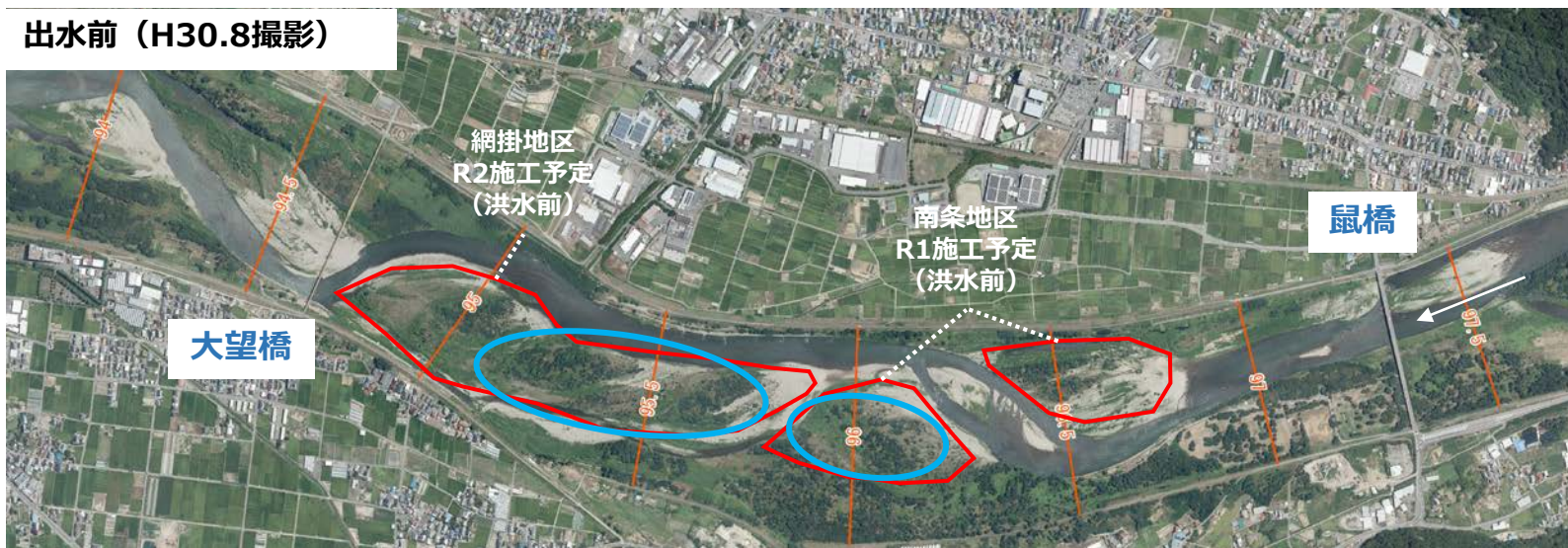
■ H29、H30に施工した箇所では令和元年度出水により滯筋が大きく変化したため、堆積・低下の傾向は把握できず



4. 坂城町南条・網掛地区：航空写真

- 令和元年度出水によって、南条地区のR1施工予定箇所上流部の砂州が消失
 - 南条地区のR1施工予定の下流側と網掛地区では完全に砂礫に回復しておらずハリエンジュが倒木化
- 倒木化したハリエンジュの再拡大が懸念され、今後の施工は南条地区のR1施工予定の下流側と網掛地区を対象

出水前 (H30.8撮影)

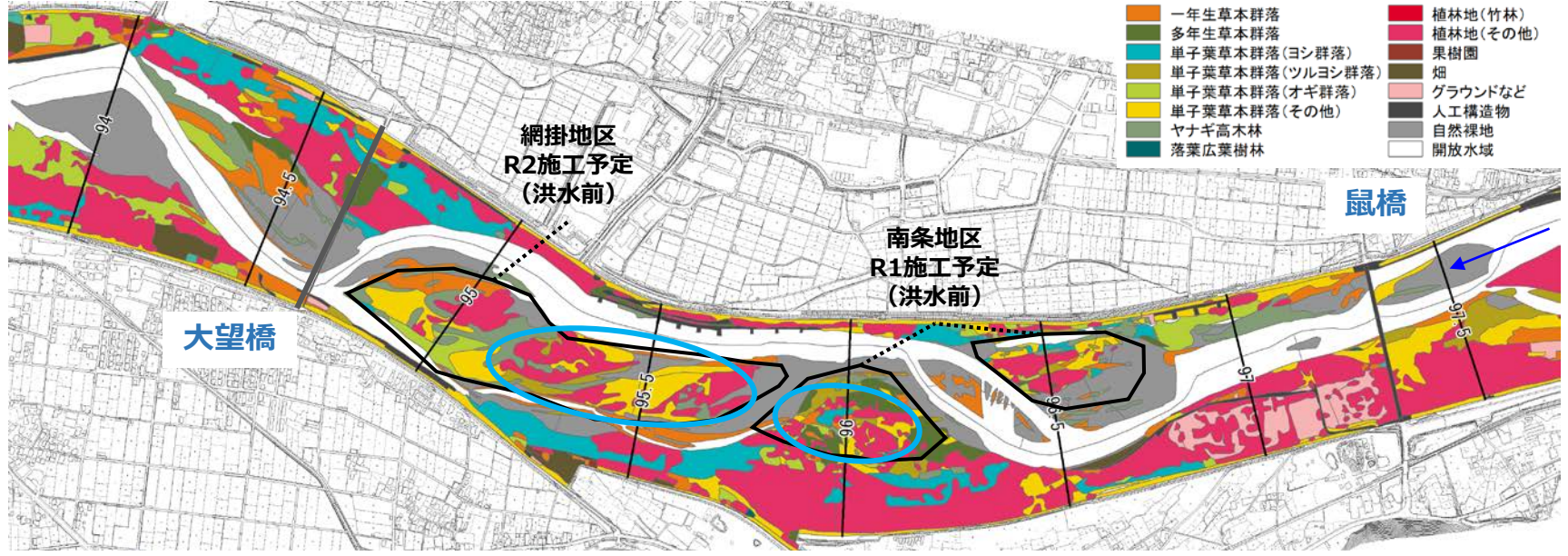


出水後 (R1.11撮影)

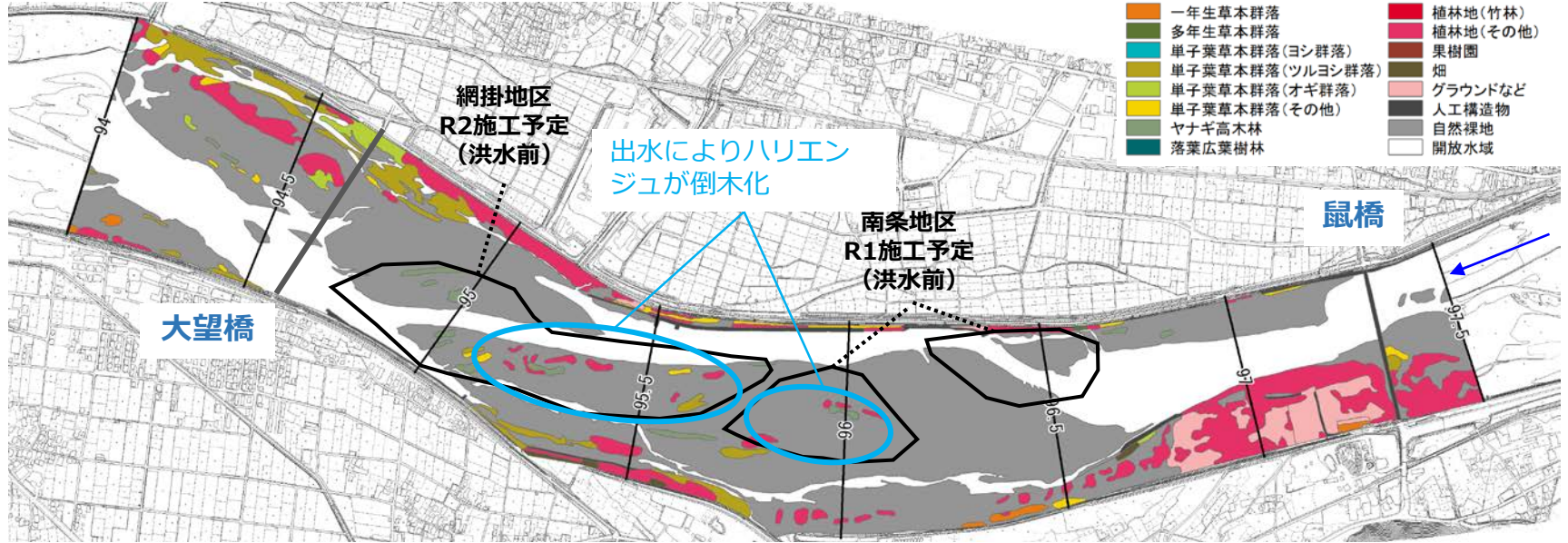


4. 坂城町南条・網掛地区：植生図作成調査

出水前 (H30秋季調査)



出水後 (R1秋季調査)



4. 坂城町南条・網掛地区：地形変化（LPデータの比較）

■ 当初R1、R2に施工予定の箇所では令和元年度出水により96.5k付近の砂州は消滅し、98.0k下流では堆積傾向

